※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)スタンダード数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	基礎と演習　チャート式数学Ⅰ＋Ａ（白色）（数研出版） 基礎と演習　チャート式数学Ⅰ＋Ａ完成ノート（白色）（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・筆記用具、授業用のノートを必ず用意してください。
・「問題を解く→答え合わせをする→やり直す」ことを実践しましょう。
　ただ問題を解くことに満足せず、やり直しまでやり遂げましょう。
・教科書の基本例題をまず自学自習してみましょう。必ず途中式や答えに到る考え方なども書くようにしましょう。
・ノートや宿題などの提出物は必ず提出するようにしましょう。
・分からないときは先生、周りの生徒に積極的に質問し、最後まで諦めずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

場合の数、確率、図形の性質、整数の性質の内容について
(1) 基礎的な知識や技能を習得し、それらの知識や技能を活用する。
(2) 事象を数学的に考察する能力を養う。
(3) 数学の知識を活用し、さまざまな数学の問題を意欲的に解こうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数、確率、図形の性質、整数の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	場合の数、確率、図形の性質、整数の性質について論理的に考察する力、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている	場合の数、確率、図形の性質、整数の性質について、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、創造性の基礎を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	場合の数	集合の要素の個数 場合の数 順列 組合せ	a:集合の要素の個数を求めることができる。ｎＰｒ・ｎＣｒの総数を求めることができる。 b: 具体的な事例を通して樹形図や表などを用いて重複することなく効率的に数えたり考えたりすることができる。 c:具体的な事例を通して、集合、樹形図や表、順列、組合せについて考えようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
	確率	事象と確率 確率の基本性質 独立な試行と確率 条件付き確率 期待値	a: いろいろな事象について､その確率を求めることができる。 b: 確率の考えを全体集合と部分集合の関係の中で考え、基本的な確率について考察することができる。 c: いろいろな事象の確率について興味や関心を持ち、問題を理解し、解決に意欲的に取り組もうとしている｡具体的な事象の確率を、順列や組合せの考えを利用しようとする。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
2学期	図形の性質	三角形の辺の比 外心･内心･重心 チェバの定理､メネラウスの定理 三角形の辺と角	a:三角形に関する基本的な性質について理解し、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 b:既に学習した図形の性質に着目し、三角形の性質を考察することができる。 c:三角形の性質に関心をもち、それらを調べようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察

※令和４年度以降入学生用

		円に内接する四角形 円と直線 2 つの円の関係・共通接線 作図 空間における直線と平面 多面体	a:円の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。基本の作図の方法を用いて、与えられた条件で作図することができる。空間図形に関する基本的な性質を理解し、直線と平面の位置関係、正多面体の頂点や辺の数を求めることができる。 b: 円の性質について理解し、それを用いて線分の長さや角の大きさなどを求めることができることを理解している。作図の意味と方法を理解している。空間における直線や平面の位置関係について的確みることができる。多面体の性質についてその性質を考えることができる。空間における直線と平面の位置関係について理解している。多面体の性質について理解している。 c:円、空間における直線や平面の位置関係に関心をもち、それらについて調べようとしている。作図に関心を持ち、その方法を考えようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察
3学期	約数と倍数	約数と倍数 最大公約数・最小公倍数 整数の割り算と商・余り	a:具体的な事例を通して、約数と倍数、最大公約数・最小公倍数を求めることができる。整数の余りの性質を理解している。 b:約数と倍数の性質を理解し、一般化された問題について考察することができる。余りによる整数の性質を理解し、それの意味と方法を理解している。 c:約数と倍数、最大公約数・最小公倍数に関心をもち、それらを調べようとしている。整数の余りから数量の性質に関心を持つ。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察

※令和４年度以降入学生用

	互除法、整数の性質の利用	ユークリッドの互除法 n進法	a:ユークリッドの互除法を理解し、最大公約数を求めることができる。２進法と１０進法の変換する計算ができる。 b: ユークリッドの互除法の性質を理解し、等式を満たす整数を見つけ出すことができる。２進法と１０進法の変換の方法や，分数と小数の変換の方法について考えることができる。１０進法および2進法のしくみや整数の性質に関連付けて理解している。 c:ユークリッドの互除法、数の表し方について関心をもち、数と人間の活動の関わりについて調べようとしている。	定期考査	定期考査	授業ノート ワーク 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度